

事務事業マネジメントシート

事務事業名		シティプロモーション推進体制整備事業					本年度担当課		広報ブランド推進課				
							前年度担当課		広報ブランド推進課				
政策 体系	基本目標	02	新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業 区分	新規・継続		継続事業		
	政 策	04	誰もが住みたいと思う魅力あるまちづくり						実施計画・一般		実計計画事業		
	施 策	01	都市ブランド戦略の推進						市単独・国県補助		市単独事業		
	基本事業	03	推進体制の整備と連携強化						任意・義務		任意的事業		
予算 科目	会計	款	項	目	予算事業名					実施方法		直営	
	一般	02	01	07	シティプロモーション推進体制整備事業					事業分類		その他市民に対する事業	
事業計画		単年度繰返し			事業期間		平成27年度 ～			市長公約		該当なし	
										総合戦略		該当	
根拠法令・条例等													

1. 事務事業の現状把握【D0】
(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段（事務事業の主な活動内容を記入します。）

事業概要（具体的な事務事業の活動内容・進め方）	令和4年度実績（令和4年度に行った主な活動内容）						
効果的なシティプロモーションを行うために必要となる体制づくりを進めるものである。 庁内においては、市長を委員長とするシティプロモーション推進本部会議と本部会議に設置する専門チームを、庁外においては民間委員で構成されるシティプロモーション懇談会を開催し、各種事業に対する意見交換、評価、企画等を行う。 また、他自治体、企業、大学等とシティプロモーションにつながる場・知識・資源等の相互活用を図る。			・シティプロモーション推進本部会議にて、次年度取組方針の検討				
			・専門チームによる庁内連携（情報共有）				
			・佐野市シティプロモーション懇談会における意見聴取				
			・職員アンケートの実施				
	活動指標	単位	R3年度 （実績）	R4年度 （実績）	R5年度 （目標）	R6年度 （目標）	R7年度 （目標）
	シティプロモーション推進本部回数	回	0	2	2	2	2
	シティプロモーション懇談会回数	回	2	2	2	2	2
	専門チーム会議回数	回	1	1	3	5	5

②対象（この事務事業は誰・何を対象としていますか？）

①庁内体制 ②市民等 ③他自治体、企業、団体、大学等	対象指標	単位	R3年度 （実績）	R4年度 （実績）	R5年度 （目標）	R6年度 （目標）	R7年度 （目標）
	専門チーム	団体	1	1	2	2	2
	大使等	人	5	5	5	5	5
	シティプロモーション懇談会参加者	団体	16	16	16	16	16

③意図（この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか？）

①②庁内の体制を含め、数多くの効果的な情報発信主体が整っている ③シティプロモーションにつながる場・知識・資源等の相互活用ができています	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	専門チームによる事業企画数（単年度）	事業	目標 実績	- 0	3 4	4	5	6
	連携事業を実施した団体数（単年度）	団体	目標 実績	- 34	28 38	29	30	31

④結果（どのような結果に結びつきますか？）

①②庁内の体制を含め、数多くの効果的な情報発信主体が整っている ③シティプロモーションにつながる場・知識・資源等の相互活用ができています	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	専門チームによる事業企画数（単年度）	事業	目標 実績	- 0	3 4	4	5	6
	連携事業を実施した団体数（単年度）	団体	目標 実績	- 34	28 38	29	30	31

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	事業費	財源内訳	単位	R3年度（実績）		R4年度（実績）		R5年度（目標）		R6年度（目標）		R7年度（目標）	
		国庫支出金	千円	0		0		0		0		0	
		県支出金	千円	0		0		0		0		0	
		地方債	千円	0		0		0		0		0	
		その他	千円	0		0		0		0		0	
		一般財源	千円	5,787		68		0		0		0	
		事業費計(A)	千円	5,787		68		0		0		0	
		事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
						旅費	38						
						報償費	30						
	人件費	職員従事工数	人工	0.45		0.25		0		0		0	
		人件費計(B)	千円	3,297		1,822		0		0		0	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	9,084		1,890		0		0		0	

B表（事後評価シート）

事務事業名	シティプロモーション推進体制整備事業	本年度担当課	広報ブランド推進課
		前年度担当課	広報ブランド推進課

（３）事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成26年度「佐野市シティプロモーション推進基本計画」を策定し、総合的・効果的なシティプロモーションの推進を図ることとなった。そのため、より効果向上を図るため、単独だけでなく各所との連携を図ることが重要であるため本事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	積極的に佐野市のPRを行うべきであり、庁内だけでなく、市民・団体等と連携してプロモーションを行うことが必要であるとの意見がある。

（４）前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持（従来通り実施）	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければならない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	⑥類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上しなかった
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
シティプロモーションの重要性の認識を図るためのアンケートに留まってしまい、それを高めるための取組実施に至らなかった。			成果向上余地がある程度ある
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	
・専門チームによる事業については、情報共有に留まってしまった。業務優先度を下げたため、事業実施には至らなかった。 ・連携団体について、声をかけていただいたものについては、基本的にすべて取り組んだが、達成できなかった。		・シティプロモーション推進本部会議での同意のもと、新たな専門チームの設置とそのチームの積極的な運用 ・連携団体については、待ちの姿勢だけではなく自ら積極的に協力を依頼する。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

（１）事務事業の評価結果					（２）今後の事務事業の方向性		（３）改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策	
目標達成度	大				事業のやり方改善（成果向上の見直し）		・観光専門チームの方向性を再検討（観光推進課との業務重複、役割の明確化） ・定住促進にかかる関係各課との連携、ビジョンの共有	
		＊評価結果に基づいた改革改善案を記入します。						
	中				・専門チームの確実な運用			
		小		○				
			大	中	小			
		成果向上余地						